

銀杏学園 同窓会だより

平成5年度

変化の時代に思う

銀杏学園短期大学学長 野中 實男



銀杏学園短期大学が発足して既に二五年、その前身である熊本医学技術専門学校を財団法人化学及血清療法研究所が設立してからは三四年の歳月を経たことになる。

その間にはいろいろのことがあった。現在地移転は昭和四三年であり、五三年には北校舎が開設された。昭和五八年には看護科が設置され、既に十年を経たことになる。

医技専発祥の地である熊本城内三の丸（古京町）も田尻市長の懇請もだし難く、化血研が熊本市に譲渡した。三年間に渉る逐次撤退を本年四月に終了し、熊本市はその跡地に細川刑部邸を移築し、十月一日から「火の国フエスタくまもと'93」が始まった。医技専時代の方々には忘れられぬ思い出の地であろう。

これらの変遷の中で数多くの卒業生が出、その大部分が臨床検査技師となり、斯界の中心にあって活躍していることは銀大の大きな誇りである。

継続は力なりと言われるがそれは単なる酔生夢死の連続ではない。静か乍らも発展の歴史に裏付けされた道程でなければならぬ。最近、多くの面でひそかな変化が急速に起

っているような気がする。自然環境、国家、政治、社会等大きく変って行くようである。

銀大もこれらの変化から無縁ではない。一八歳人口のピークを過ぎて学生も量、質共に変ると考えられる。検査技師という国家資格は単なる自己保存的職務制限ではない。高い専門技術と優れた人間性を必要とする職務につくことを許された人々の誇り高い資格である。

生物の基本であるDNAの特長の中に滅多に変わらない安定性とたまに変わって発展する進化性があると言われる。この変化の時代に銀大がどのように対処し、発展を手に入れるかが私達に課せられた大きな責務である。皆様方の御叱声と御協力を切にお願いする次第であります。

ご挨拶

同窓会長 梅橋 豊蔵



今年も干支でいうと今世紀最後の酉年にあたり。この酉年が過去の統計上の傾向として、どういう巡り合わせの年なのかは知りませんが、気象異変による凶作、台風・地震などの自然災害、ゼネコン汚職、政変、構造的な景気低迷とどうも大変な年になりました。

世紀末と干支を同時に論じるのは甚だこっけいで矛盾があるとは思いますが、人間は弱いもので何かに因果関係を見出そうとしてしまします。

浅学非才をも省みず同窓会長という大任をお引受けし、回りの方々に助けられながら、はや二期四年が経過しました。そしてこの度厚顔にも三期目をお引受けすることとなりました。会運営については多くの会員のご意見を拝聴しながら、出来るだけ水の上よども様様を注意したいと思っておりますので、何卒会員各位のご叱責とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

平成四年度は毎年開催してきた臨床検査技師講習会が第二〇回という節目を迎えたことから、鶴屋デパート八階宴会場において合同クラス会を開催することが出来ました。当日は野中学長、上野前学長、神原先生をはじめご来賓二四名、会員一八三名にご参加戴き、盛會裡に終了することが出来ました。諸事情等もあつたかと思いますが、各期別の参加者数に大きく差があつたこと等もあり、全体としては会員参加者数という点で期待した数に到達せず、若干の反省点が残りました。しかし、実行委員の方々が熱心に準備を進めて戴いたこともあり、懇親会は大変盛り上がった

と思っておりますし、また、参加された多くの会員からも高評価を戴きました。

平成四年度事業としては、庶務部の努力により同窓会名簿を作成し、十一月に会費納入会員にお届け出来ました。また、十一月下旬には企画部から同窓会便りも例年通り発行致しました。平成四年四月には、熊本で初の第四一回日本臨床衛生検査学会が開催され、その折に同窓会懇親会を開催し、一〇〇名余りのご参加を得て大いに賑わいました。一方、一〇月に鹿児島地区で、十一月に宮崎地区でそれぞれ支部会が開催されました。鹿児島は都合で参加出来ませんでした。宮崎支部会には小生も加えて戴き、二次会まで大いに賑わいました。各支部のお世話を戴いている皆様には、今後共忌憚のないご意見を頂戴いたします様お願いいたしますと共に、何卒支部活性化にご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成五年度も、技術講習会のあり方委員会での検討結果を土台に、学術部を中心として第二一回技術講習会を開催致しますので、是非沢山の会員にご参加戴きますようお願い申し上げます。

平成六年一〇月二一日(金)午後二二日(土)、熊本で第二九回九州臨床検査学会が開催されます。絶好の機会ですので二二日(土)の学会終了後、第二二回技術講習会として同窓会を開催する様に企画しております。詳細は平成六年度同窓会便りでご案内致しますが、何卒多数ご参加戴きますようお願い申し上げます。会員各位の益々のご健勝を祈念致します。

支部会便り

鹿児島地区同窓会活動について

鹿児島大学附属病院 楢原 真二

鹿児島地区医技専・銀大同窓生は自宅会員を含めて約一五〇名で、鹿児島県技師会の中核となつて活動しているものと自負致しております。

われわれは、平成元年七月、平成四年一〇月に医技専の四本先生(専五)、永田先生(専九)の指導下で二度の地区同窓会を開催する事ができました。鹿児島地区同窓会は研修会と懇親会を行い、昨年の同窓会について述べますと、研修会として一〇回生の永吉先生(輸血研究班全国委員)にHLAについての最近の知見や Transfusion Donor Bank などについて約一時間の講演を頂き、その後懇親会に移りました。昨年の同窓会には参加者三〇名と少なかったのですが(平成元年は六〇名)、参加者全員で銀杏学園歌を三度も合唱し、自己紹介、近況報告などを行い鹿児島地区同窓生の旧交を暖めたひとときでした。

宮崎県同窓会支部からの便り

宮崎県立延岡病院 黒木 重亨

同窓生の皆様お元気の事と存じます。

今年は、全国的に長雨と台風で農作物、家屋の被害、更に土砂崩れ等で多数の尊い人命が奪われました。皆様の処は如何でしたか。

宮崎でも、台風爪痕があり、沢山の瓦の補修が品不足で出来ず今だに(九月)青いテントが乗った家が見られます。又五ヶ瀬川の鮎も何回もの増水で、川石に餌になる苔がつかず、成長が思わしくないようです。

さて、同窓会が発足して早三〇年が経過し青年壮年、実年と様々な年代の同窓生が居るようになっていきました。平成四年十一月現在で一〇六名の同窓生が居られる事が判りました。私どもが勤め始めた昭和三十七年、三十八年頃は、二期生が四名、三期生が二名の六名だった頃を思つと夢のようです。

現在、その頃の若者が五〇才を超え、各職場でリーダーとして頑張っています。宮崎県では時々同窓会をやっていたのですがなかなか、後輩にパトントンタッチ出来るような決まりがなく何とかしようと、平成四年十一月二八日に同窓会発足式なるものを企画しました。

このような会になると若い人の参加が少ないと言われますが、地区同窓会では卒業一二年の方と医技専の方々の参加が多く、中堅の方の参加が少ないようで、これからの課題でもあります。連絡方法などにも問題が考えられますが、横の連絡を密にして、できるだけ多くの人に参加して頂くよう、魅力ある地区同窓会に発展させたいと思っております。

われわれは、二一三年に一度の地区同窓会・研修会を開き、同窓生相互の親睦、研議を計りながら、育てて頂いた母校、化血研、あるいは後輩のため努力するつもりであり、organizer としての会の運営をされている一〇回生の東、二反田、永吉、一八回生の今堀の各氏をはじめ連絡責任者の方々に同窓生の皆様と、今後共、頑張っていくと思っております。

学術講演会をやり、総会、懇親会と手順通りに企画実行。

学術講演は、化血研のカ久哲二氏(専五期生)に、ウイルス性肝炎とその周辺と題して講演していただきました。興味ある話と、カ久氏の話術に引き込まれ、沢山の質問も出て非常に良かったと思っております。それから総会、議題は今後の同窓会のあり方と題して、議長を日向保健所予防係長中野勝氏にしてください活発な意見がでました。

しかし、誰もが早く宴会に入りたいものですが、ポイントのみ早々に決めたのが下記の通りです。

- 一、名称は、宮崎県銀杏学園短期大学同窓会とする。
- 二、会員は、本部の会則に準ずる。医技専、銀杏短大、熊大微生物学教室、学生とする。
- 三、同窓会開催、少なくとも三年に一回は開く。毎年やってもよい。
- 四、会費は、役員が状況をみて判断する。
- 五、役員 会長 黒木 重亨
副会長 長 藤正
副会長 中原 康子
会計庶務 藤松尾 康子

鹿児島地区同窓会活動につきましては、会長をはじめ同窓会本部、銀杏学園、化血研の先生方には大変お世話になり、お礼を申し上げますと共に、今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

私事で大変恐縮ですが、九一〜九二年にかけてカナダ・アルバータ大学医学部ウイルス・臨床感染症学教室でDNA診断について研究留学する機会が得られました。同窓生、在校生の方で海外に「く」されたい方は紹介しますので連絡してください。

地区理事

- | | |
|------|-------------|
| 宮崎 | 佐藤 信也、上原 幸城 |
| 延岡 | 一木 秀章 |
| 小林都城 | 免田 朋子 |
| 日南 | 末沢 滝子 |

以上のように決まりました。

その後は、楽しい宴会に入り、親睦を深める事ができました。

この会を開催するに当たり、梅橋同窓会会長が出席、化血研 嶋田室長、三光純菜さん大変お世話になりました。

長年私と中原氏とでお世話してきたのですが、今後は若い世代にパトントンタッチしようと思っております。

話は変わりますが、宮崎はリゾート開発で、七月にシーガイアがオープンし、更に一〇月には宮崎芸術劇場が完成、すばらしいパイプオルガンの音色が楽しめます。

宮崎⇄札幌間の直航便が週三回運行するようになり、又宮崎駅も高架になり、その周辺がぐっと都会的になってきました。

新しい観光都市宮崎、太陽と緑の国宮崎、同窓生の皆様ぜひおいで下さい。

末筆ながら会員皆様のご健勝を祈ります。

九州屈指の私立医療短大 銀杏学園短期大学

深い教養と人間性に富む医療技術者を育成する短大



学長 医学博士 野中 實男

- 衛生技術科(男女) (3年制)100名
 - 臨床検査技師育成
 - 臨床検査技師国家試験受験資格取得
 - 特典 医療機関・研究所など
- 看護科(進学課程・男女) (2年制)40名
 - 看護婦(士)育成
 - 特典 看護婦(士)国家試験受験資格取得
 - 就職 医療機関

■推薦入試				
	受付期間	試験	発表	試験科目
衛生	5年11月16日(火)~11月26日(金)	12/3(金)	12/10(金)	現代国語(含作文)・理科-I(地学分野を除く)面接・健康診断
看護	5年11月16日(火)~11月26日(金)	12/3(金)	12/10(金)	現代国語(含作文)・看護学・面接・健康診断
■一般入試				
	受付期間	試験	発表	試験科目
衛生	一次 5年1/8(土)~1/22(土)	2/1(火)	2/10(金)	数I・II、英語I・II、理科(物理・化学・生物の中から1科目選択、但し、理科Iの当該分野含む)面接・健康診断
	二次 3/11(金)~3/16(火)	3/23(火)	3/28(月)	
看護	1/8(土)~1/22(土)	2/1(火)	2/10(金)	基礎学力試験(現代国語・数学I・英語I)看護基礎医学・看護学・面接・健康診断

募集要項 千共1,000円(小為替又は切手)・学生部教務課

銀杏学園短期大学 〒860 熊本市清水町大窪819番地 電話(096)344-7611代表 電話(096)356-5656(教務課)

各部だより ◆ INFORMATION ◆

庶務部

松本 珠美

前年度は会員名簿発行、合同クラス会開催と何かと忙しかった庶務部（庶務部だけが忙しかったわけではありませんが）ですが、今年度は何かのんびりとしています。

そういうわけで、今回は庶務部からのお知らせはとくにありません。

そこで前回の会員名簿発行についての現在の状況や、発行してみたことなどを、二、三あげてみたいと思います。

名簿は終身会費を納められた方のみにお渡ししましたが、現在、その名簿の後ろにつけました連絡先変更の葉書がぞくぞくと返ってきています。その葉書を見て、私達が“しまった”と思った事。

差出人の御名前を書いていた欄がなかったために、どなたが出された葉書なのかわからないものが、実は結構ありました。せっかく連絡していただいたのに、非常に申し訳ない事だと反省しています。次回はこのような点をなくすよう、努力します。冊子での名簿発行は数年に一度なのですが、細かい訂正は年度毎に行っております。同窓会を開きたいと思われる方にはご協力できるかと思っておりますので、その際には是非お知らせ下さい。

技術講習会の準備もしなくてはならない時期です。今までとはちょっと違った講習会を目指して、いろいろな方が頑張っているらしいです。皆様の積極的な参加をお待ちしています。

なお、下記の宛先で連絡先変更は受け付けておりますので、住所・氏名・連絡先等の変更がございましたら、是非御一報下さい。

〒862 熊本市清水町大窪819 銀杏短大内 同窓会庶務部
または
TEL096-344-7611(内線35) 松本まで

会計部

福岡 直美

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のことと存じます。さて、私は今年3月より我が母校である銀杏学園短期大学に助手として勤務しております。早いものでもう7ヶ月が過ぎ毎日あたたかく過ごしております。仕事の方は随分と要領を得て来ましたが、知識が追いつかずこれまでの勉強不足を悔いるばかりです。これから少しずつではありますが、諸先輩方に追いつくよう努力して行きたいと思っております。

このような中でこのたび、同窓会理事会に加わり更に会計部に所属することになりました。これまでは同窓会活動にあまり積極的ではなかった私ですので、今までの分まで頑張りたいと思っております。より一層の同窓会活動の活性化並びに会員の皆様方とのつながりが深まりますよう微力ながらお手伝いさせていただきます。まだまだ未熟ではありますが、持ち前の体力と笑顔で頑張りますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

企画部

正木 孝幸

今期に選出されました企画部員は、前期に引き続き拝命した、久々哲二部長、佐間野健、北野正文、正木孝幸の4名であります。

企画部の活動内容としては、皆様にお届けしています同窓会便りの編集が主な業務であります。学術部を補佐して技術講習会の企画にも参加致しております。

本同窓会便りは、種々の都合により年一回の発行であり、また内容も変化に乏しい物となっておりますが、読者である皆様方のご意見、ご批判を仰ぎ、魅力あるものにしていこうと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

学術部

渡邊 友宏

平成5、6年度の学術部委員は医技専3期・岡寄公士朗（熊本附属病院）、医技専7期・広瀬英治（国療熊本南病院）、銀大1期・渡辺友宏（国療再春荘病院）、銀大2期・中川敬一（熊本中央病院）、銀大6期・丸山博史（熊本市保健衛生研究所）および銀大21期・松本成樹（NTT九州病院）の6名が担当いたします。今期の学術部長は、広瀬あるいは丸山学友にお願いしたいとの意見がありましたが、来年の九州学会が熊本にて開催されることになり、実行委員長を丸山、学術部長を広瀬と両学友が担当することになりました。そのこともあり、銀杏学園から比較的近いところに勤務することを理由に、渡辺が引き続き仰せつかることとなりました。よろしくお願いいたします。

卒後教育の一環として、銀杏学園の主催にて開催されました技術講習会を、同窓会が引継いで行うようになり、今年度は第21回目を迎えることとなります。当初は、銀大の校舎で開催され、純粋に検査技術に関する講習会であったと記憶しています。当時は、技師会主催の勉強会が今日のように数多く実施されていない時期であり、一般検査の沈渣が取り上げられたときなどは、とても勉強になっていました。同窓生によるシンポジウムと、全国的に活躍されている先輩による講義を組み合わせた内容であった時期。次に、臓器別にシリーズでテーマを選択し基礎的な講義を織り込んだ内容の時期。それから、藤井勝会長（医技専2期、NTT九州病院）の時期に文化講演が設けられ、その後は、文化講演を必ず1題は入れるような内容で変遷してきました。専門的な技術や知識の勉強会は技師会の研究班活動にて殆ど実施され、参加した同窓生すべてに関係する話題となると一般的な教養となり、文化講演が主体となって来ましたのも、時の流れに沿ったものであろうと回顧されます。

数年前より、技術講習会あり方委員会なるものをつくり、できるだけ多くの同窓生に技術講習会に対するご意見をお聞きして、企画に活かしてまいりました。基本的な姿勢は、多くの同窓生で企画し、できるだけ多くの同窓生が発表あるいは講演し、より多くの同窓生に参加していただきたい、というものでした。しかし、現実的には、参加者数をみると毎年100名前後であり、同じ顔ぶれが多く、若い方の参加が年々少なくなってきているようです。何とか多くの会員の参加が望めないものかと、学術部委員一同、無い頭を絞っていますが、なかなか良いアイデアの企画ができない現状です。そのような中、梅橋豊蔵会長の「同窓会が企画

し、毎年実施していることに意義があり、参加者数の多少は問題ではない」との言葉に助けられ、何とか企画、実施している現状です。

今年度の技術講習会あり方委員会は、平成5年9月14日（火曜日）に銀杏学園の会議室にて、19名の参加を得、開催いたしました。主に、熊本県内の主要病院に勤務する同窓生と、今回は特に、一人二人の同窓生しか勤務していない医院にも参加の依頼をおこないました。また、電話なりでご意見を賜りたく、数名の県外の方を含めると計85名の方に葉書にて依頼したことになりました。そのかいあって、初めてお逢いする同窓生の方も参加していただき、貴重なご意見をお聞きすることができました。当日の参加者の中には郡部の方もおられ交通費の手当もせず申し訳ありませんでした。参加者氏名を掲載することでお礼に替えさせていただきます。あり方委員会にてまとめました案は、文化講演あるいは教育講演を2題とし、特に1題は、医学にまったく関係ない、若い方々が関心のある話題を企画して欲しいとのことでした。そこで、早速、関係者のご協力を得て、プログラムの通り、第21回・技術講習会の内容を決定することができました。また、今回の第21回・技術講習会では、講演のビデオを作成し、貸し出すことで、自宅研修、支部活動あるいは学生の教育などに活用できるようにしたいと計画しています。ご協力いただきましたあり方委員の方々に感謝いたします。

ところで、技術講習会が専門的技術に関する内容が少なくなり、一般教養的内容になりつつあることから、その名称を同窓会卒後教育セミナー等に、名称変更したらどうかとの意見ができています。

名称変更の問題を含め、銀杏学園短期大学の卒後教育のあり方、進め方に付いて、じっくりとお考えいただき、会員各位のご意見をいただければ、より素晴らしい卒後教育事業に発展するものと思います。よろしくお願いいたします。

冒頭にもふれましたが、来年度の九州臨床検査学会は同窓会長の梅橋豊蔵が学会長を務め、事務局長は銀大1期の上原正信が担当いたします。九州各県から同窓生が集うこの学会に合わせて技術講習会を開催したら、より多くの会員の参加が得られる可能性が高く、平成6年10月22日（土曜日）を予定してはどうかと企画を進めています。この第22回・技術講習会の内容につきましてもご意見、ご希望をお聞かせいただければ幸いです。

連絡先；〒861-11 熊本県菊池郡西合志町須屋2659
国立療養所再春荘病院検査科
TEL096-242-1000(314)

平成3年度 決算報告

収 入		支 出		(単位 円)
平成2年度繰越金	6,321,910	講習会費	222,270	
入会金(新卒業・新入生)	1,170,000	会誌発行費	193,004	
終身会費	1,047,940	通信費	65,430	
銀大後援会助成金	200,000	会議費	74,573	
雑収入	63,426	印刷費	23,381	
		人件費	31,970	
		雑費・事務消耗費	44,068	
	8,803,276		654,696	
		8,803,276 - 654,696 = 8,148,580		
		平成4年度へ繰り越し		

平成4年度 中間報告

収 入		支 出		(単位 円)
平成3年度繰越金	8,148,580	会誌発行費	1,783,128	
終身会費(新卒業・新入生)	1,120,000	通信費	31,550	
終身会費(既卒生)	99,460	会議費	49,000	
雑収入	13,510	支部活動費	100,000	
	9,381,550	懇親会費	74,205	
		人件費	59,775	
		雑費・事務消耗費	35,883	
			2,133,541	
		9,381,550 - 2,133,541 = 7,248,009		
		平成4年12月現在高		

銀杏学園短期大学同窓会会計監査報告

銀大同窓会平成三年度会計収支明細及び平成四年度中間収支明細、必要書類(領収書含む)を監査し、異常なきことを認めます。

平成5年1月8日

銀杏学園短期大学同窓会 会計監査

NTT九州病院検査科 藤井 勝

熊本中央病院検査科 江藤 博三

平成5年度 予算(案)

収 入		支 出		(単位 円)
繰越金	6,500,000	会誌発行費	200,000	
終身会費(新入生)	1,000,000	支部活動費	200,000	
終身会費(既卒生)	50,000	講習会費	200,000	
助成金(銀大後援会)	200,000	印刷費	50,000	
雑収入	50,000	通信費	50,000	
	7,800,000	会議費	100,000	
		事務用品	50,000	
		予備費	50,000	
			900,000	
		7,800,000 - 900,000 = 6,900,000		
		次年度繰り越し予定		

会計部より

三村 孝俊

平成3年度決算、平成4年度中間報告及び平成5年度予算を別表のように報告致します。講習会時の総会で報告し、承認を頂きました。

さて今年度も理事を再任、会計をおおせつかりました。内田憲一理事、そして新任の福岡直美理事で会計部を構成します。ベテランの内田理事には困難な問題解決には心強い智恵袋になっていただけなのでしょう。一方福岡理事には近年の若い世代には同窓会ばなれが目立ちそれが入会会費の拒否として現れていますが、そういう問題に対してうまく対処してくれるのではないかと思います(後のメッセージにあるように当人もはりきっています)。

以上3名がんばっていきたいと思いますので同窓会会員の皆様、よろしくご協力の程お願いいたします。

終身会費納入先

郵便振込 口座番号 熊本 1-35812

第一勧業銀行 口座番号 682-1215739

肥後銀行 口座番号 101-1474157

〒860 熊本市清水町819

銀杏学園短期大学同窓会 宛

(期別、旧姓等は詳しくお願い致します。)

第21回・银杏学園 同窓会技術講習会のご案内

平成6年1月29日(土曜日)に開催されます、第21回・技術講習会は別紙プログラムの通りです。講演していただきます講師の先生方のプロフィールをご紹介します。会員の多数のご参加をよろしくお願いたします。

第21回 技術講習会

- ◎日 時/平成6年1月29日(土)
15:00~17:30
◎会 場/同仁堂ホール スタジオライブ
◎内 容/裏面プログラム
◎その他/会場には駐車場がありません。
近くの有料駐車場をご利用ください。

同窓会総会

- ◎日 時/平成6年1月29日(土)
14:20~14:50
◎会 場/同仁堂ホール スタジオライブ
TEL:(096)325-8131

懇親会

- ◎日 時/平成6年1月29日(土)
18:00~20:00
◎会 場/同会場
◎会 費/3000円

学術 講演

『美しく健康に生きるために』

日赤熊本健康管理センター健康管理部長 小柳 敦子先生

医学、医療が治療する医学から予防する医学へ、そして積極的に健康で生きるための医学へ、また、その量から質の向上へと変遷し、進化をとげつつあります。このようななか、日本赤十字社熊本健康管理センターは人間ドック、集団検診、健康教育など予防医学を展開されている施設であります。そのなかで小柳先生は、特に、健康教育、健康管理、健康増進面において活発なご活躍をしておられます。ご略歴は、昭和45年に熊本大学医学部をご卒業になり、予防医学とのかかわりは昭和52年から玉名農村検診センターに勤務され、また、昭和53年からは日本赤十字社熊本健康管理センターに移られ現在に至っております。今回は、予防医学への深い造詣を基に、美しく健康に生きるためのノウハウを、私どもの生活に実際に活かせるよう、ご講演いただく予定です。

教育

講演

『心のふれあいを求めて』

—宗教を見つめ直し、身近な存在に—

神栄寺 松永 照治 住職

(新聞、雑誌を通してのプロフィール)

◎悩んでいる人のために私はある

お経を上げ御仏が私の口を借りて、お伝えするということが基本です。相談者からの電話であっても、私はその方の性格、体型、年齢、過去の病歴などをドラマみたいに透視することができ、解決の方法を示唆することができます。

◎自然治癒力を最大限に発揮

宗教と病気はまったく別のことです。原因が肉体的なものであれば、病院へ行かれることをおすすめします。ただ、精神的なものや悪い霊がついている場合などは完璧な解決をめざしています。基本は人間が本来持っている偉大な自然治癒力を目覚めさせ、最大限に高めることが私の役目です。

◎檀家を持たない布教活動

普通のお寺のような檀家制度などは一切もっておりません。真言宗は学ぶことができますが、私の持っている靈感(霊能力)は生まれつきであり、修業すればできるものではありません。多くの人の相談を聞き、霊の導きによって救いたいのです。このこと自体が修業であり、私に与えられた義務であると確信しています。

◎即身成仏の体験

私の少年時代は、難病にかかり死の境をさまよったり、近所の火事を予言したり、盗品の場所を発見したりする不思議な予知能力を好奇心でみられ、悩み傷つくことの多い日々でした。そんな時に、師にあたる方から「自分の力を疎ましく思うより人を救うことに生かしていけば、すなわち自らも救われる」と、それが仏の道への導きでした。振り返れば、生きながらにして仏をみるという、即身成仏の体験です。

◎宗派を超えた道徳心の向上

聖徳太子が伝えられた仏教、天照大神から続く神道、これら日本の伝統を受け継ぎ宗教というより道徳心を大切に、いたわりあい、助け合う心を、若い世代に持ってもらうのが私の夢です。

◎悩みの銀行神栄寺

悩みをお預けにこられた方には「幸せ」という利子をつけてお返ししているのが神栄寺です。もしおなやみができましたら、是非お預けください。きっとご満足のいく利子があなたのもとへかえるでしょう。今日の出逢いがすばらしいものとなりますように。合掌

(文責:学術部 渡辺 友宏)

ポリアミノ酸粒子を担体とした

ニューセロクリットシリーズ

HBs抗原測定用試薬(定性180回用他)

ニューセロクリット®-HBs

HBs抗体測定用試薬(定性180回用他)

ニューセロクリット®-抗HBs

HTLV-I抗体測定用試薬(定性100回用他)

ニューセロクリット®-抗HTLV-I

特 徴

1. 自社開発した人工合成粒子(ポリアミノ酸粒子)を担体としており、担体に由来する非特異性がほとんどありません。
2. 担体が赤色(髑色)に着色してあるため、凝集像が鮮明で判定が容易です。
3. 間接凝集反応を原理としています。
4. 操作法が簡便で短時間で判定できます。

発売元
三光純薬株式会社
東京都千代田区岩本町1-10-6

化血研の 新製品

■ニュータイプの

酵素コントロール血清

ヒト型酵素コントロール血清

セラクリア®-HE

- ★セラクリア-HEは、分画ヒト血清をベースにヒト細胞由来精製酵素を添加調整した信頼性の高い酵素測定用管理血清です。
- ★IFCCおよびJSCC勧告法などに従ってくり返し測定した分析値を表示しています。
- ★ヒト型酵素を添加していますので、これまでの管理血清では得られなかったすぐれた精度管理結果が期待出来ます。
- ★従来の凍結乾燥品に比べ溶解性、透明度にすぐれています。

発売元
日本商事株式会社
大阪市中央区石町二丁目2番9号

■化血研のC型肝炎検査用試薬

HCV関連抗体検出用試薬(96回用)

分装10回 EIA

「HCV NS-Ab」

(Chemo-Sero EIA 「HCV NS-Ab」)

- HCV抗体のうちNS5及びNS4抗体を検出します。

HCV Core 抗体測定用試薬(96回用)

分装10回 EIA

「JCC-2」

(Chemo-Sero EIA 「JCC-2」)

- 治療効果判定の指標に有用です。

発売元
オーソ・ダイアグノスティック・システムズ株式会社
東京都江東区東陽6-3-2

化血研 化学及血清療法研究所
東京都品川区東品川4-1-1
Phone 03-3481-1711 Fax 03-3481-1345